

【進捗状況】

重点施策		道徳教育の研究推進
担当課		学校教育課
H28	達成状況	<input type="checkbox"/> 南中学校が2年間の研究の成果を発表し、市内外に広く道徳教育の進め方を提案した。(10月) <input type="checkbox"/> 三好丘中学校区の3小中(三好丘中・三好丘小・黒笹小)が連携して人権教育事業に取り組み、児童生徒・教職員の人権意識を高めた。
H29	達成状況	<input type="checkbox"/> 市主催による道徳教育推進教師研修会を実施(10月) <input type="checkbox"/> 教科化に向けた検討会議を3回実施(8月、10月、12月) <input type="checkbox"/> 市主催による新年教育研究大会で道徳に関する講演会を実施(1月) <input type="checkbox"/> 三好丘中学校区の3小中学校が連携して人権教育事業に取り組んだ。 <input type="checkbox"/> 三吉小学校が道徳教育の抜本的改善・充実に係る支援事業を実施し、道徳の授業づくりや評価の在り方について力量向上に取り組んだ。
H30	達成状況	<input type="checkbox"/> 市主催による教務・校務主任対象に、道徳の評価のあり方に関する研修会を実施(8月) <input type="checkbox"/> 市主催による道徳教育推進教師研修会を実施(9月) <input type="checkbox"/> 道徳科の資料・書籍代金を助成し、各校で授業づくりや評価の在り方に関する研究・検討を進めた。 <input type="checkbox"/> 三好丘中学校区の3小中学校が連携して人権教育推進地域事業に取り組み、新年教育研究大会で成果発表を行った。
R1	行動予定	<input type="checkbox"/> 市道徳教育推進プランの作成(3月末) <input type="checkbox"/> 道徳教育推進プラン作成に向けた児童生徒の実態把握・資料収集 <input type="checkbox"/> 市主催による道徳推進教師研修会を計画(12月) <input type="checkbox"/> 三好丘中学校区3小中学校連携による人権教育推進地域事業に関する取組を精選しつつ、継続的に実施
	達成状況	<input type="checkbox"/> 児童生徒の実態把握・資料収集を行い、その結果を用いて市道徳教育推進プランを作成した。 <input type="checkbox"/> 市主催による道徳推進教師研修会を実施(11月) <input type="checkbox"/> 三好丘中学校区3小中学校連携による人権教育推進地域事業に関する取組を精選しつつ、継続的に実施
R2	アンケート・点検評価の分析 R2に向けた改善	<input type="checkbox"/> 心の教育に関するアンケートの項目で、肯定群は小中ともにすべて90%以上となっている。道徳教育に力を入れた成果と考えられる。 <input type="checkbox"/> 「いじめはどんな理由があってもいけないことだと思う」において肯定群が小中ともに増え続けている。今後も継続していじめを許さない指導を続けていきたい。
	具体化した行動予定	<input type="checkbox"/> 市主催による道徳推進教師研修会の実施

【成果指標】「いじめはどんな理由があってもいけないことだと思う」児童生徒の割合

* 国の全国・学力学習状況調査の質問項目に変更があったため、

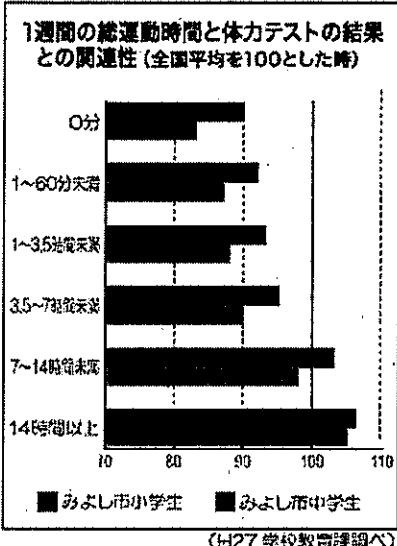
基準年にさかのぼって成果指標を改めました。

(全国学力・学習状況調査)

基準年(H27)	H28	H29	H30	R1	目標(R2)
小97.3% 中90.0%	小96.7% 中90.9%	小96.6% 中93.5%	小96.5% 中93.3%	小97.0% 中94.3%	小98.0% 中95.0%

※小中ともに伸びが見られるが、子どもの心に届く指導・支援のあり方について研修・実践を重ねていく。

みよし市体力向上計画



現状と課題

市内の小中学校では、体育の授業とは別に、運動会や体育祭などの学校行事を通して運動に親しめるようにしたり、子どもが企画するスポーツ大会や休み時間の外遊びを推奨したりして、運動する機会を積極的につくるようにしています。

左のグラフからも分かる通り、1週間の総運動時間が長くなると、体力が高くなる傾向があります。これからのみよしを支える子どもが、生涯にわたり健康でたくましく生きていくために、義務教育段階で運動の必要性や楽しさを伝え、仲間と共に積極的に運動に関われるようとする必要があります。

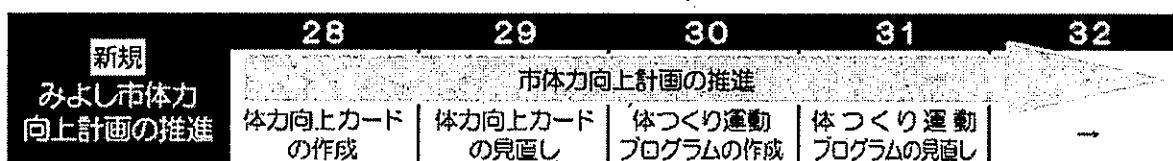
重点施策 みよし市体力向上計画の推進

参考文献Ⅰ-4-(1)ア P54

【施策の概要】

みよし市体力向上計画を作成し、子どもが生涯にわたって運動に親しむ素地づくりに努めます。この計画では、独自の体力向上カードを作成して子どもが自ら運動する環境づくりを進めたり、カリキュラムの研究を行い、発達段階に応じた体つくり運動プログラムを作成したりします。

【進行計画】



【成果指標】全国体力・運動能力調査の体力テストの合計点(全国との比較) (全国体力・運動能力調査)

現状(H26)
小学生:男子53.1(全国比△0.8)
:女子54.5(全国比△0.5)
中学生:男子41.0(全国比△0.7)
:女子48.1(全国比△0.6)



目標(H32)
小学生 全国の合計を男女とも上回る
中学生 全国の合計を男女とも上回る

※実践的な体力向上に取り組むことで、総運動時間を確保し、子どもの体力向上を目指します

【進捗状況】

重点施策		みよし市体力向上計画の推進
担当課		学校教育課
H28	達成状況	<input type="checkbox"/> 体力テストの結果を分析したり、各校から体育や体力向上のためのカードを収集したりした。(10月、12月) <input type="checkbox"/> 市内の児童生徒や学校での取組の現状を把握し、体つくり運動の領域に絞って体力向上カードを作成した。 <input type="checkbox"/> 子どもの体力向上課題対策プロジェクト検討委員による研修の実施。
H29	達成状況	<input type="checkbox"/> 各校から、体育科の各領域の学習カードをデータで収集した。現在、学習カードのデータファイルやウォーミングアップドリル案を作成中である。 <input type="checkbox"/> 子どもの体力向上プロジェクト検討委員が作成した「体力向上プロジェクト」を市内小中学校へ配付し、活用を促した。体育の授業で活用された。 <input type="checkbox"/> 子どもの体力向上のための「小4プロジェクト」講習会に、市内小中学校の教員41名が参加し、「走力」を高めるためのアクティビティを学んだ。
H30	達成状況	<input type="checkbox"/> 平成29年度に各学校へ配付した「ウォーミングアップドリルや運動遊び集」の見直し及び充実を図り、授業での活用を促した。 <input type="checkbox"/> 小学校では、児童会や高学年を中心に大縄跳び大会などを計画し、記録を競い合えるようにした。
R1	行動予定	<input type="checkbox"/> 体力向上プロジェクトの一環として、「ウォーミングアップドリルや運動遊び集」の見直し及び充実を図ったり、研修会を開催したりする。 <input type="checkbox"/> 「ウォーミングアップドリルや運動遊び集」については、特に器械運動の見直し及び充実を図る。 <input type="checkbox"/> 県の実技講習会に参加した教員を講師として、8月に器械運動のウォーミングアップドリルや運動遊びに関する研修会を開き、市内教職員への周知を図る。
R1	達成状況	<input type="checkbox"/> 「ウォーミングアップドリルや運動遊び集」の器械運動領域について作成し、学校へ配布した。 <input type="checkbox"/> 「ウォーミングアップドリルや運動遊び集」の器械運動領域について、実技講習会で活用した。
	アンケート・点検評価の分析 R2に向けた改善	<input type="checkbox"/> 小学生で運動する機会が減少し、中学校においても部活動の時間が削減されることにより、これまでよりも運動する機会が少なくなっている。多様な動きを楽しく経験することにより、運動好きな児童生徒を育成する。
R2	具体化した行動予定	<input type="checkbox"/> 「ウォーミングアップドリルや運動遊び集」の見直し及び充実を図る。 <input type="checkbox"/> 体育主任者会等を通して、「ウォーミングアップドリルや運動遊び集」の活用促進を図る。

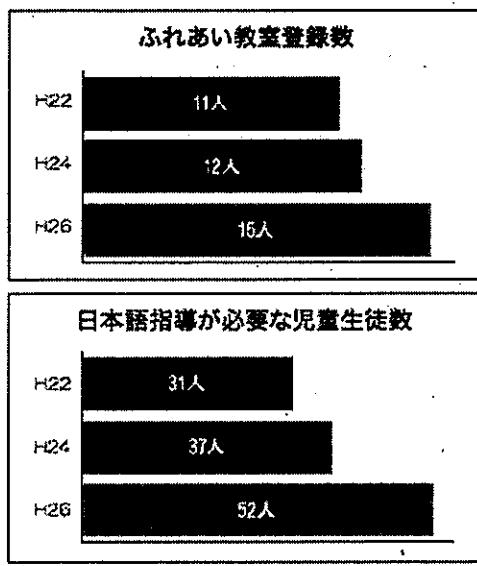
【成果指標】 全国体力・運動能力調査の体力テストの合計点（全国との比較）

(全国体力・運動能力調査)

基準年(H26)	H28	H29	H30	R1	目標(R2)
小男：全国比△0.8	小男：全国比+1.1	小男：全国比△0.5	小男：全国比△1.4	小男：全国比△0.6	小中・男女とも全国を上回る
小女：全国比△0.5	小女：全国比+0.6	小女：全国比△0.3	小女：全国比△1.2	小女：全国比△0.5	
中男：全国比△0.7	中男：全国比△0.9	中男：全国比△2.7	中男：全国比△1.6	中男：全国比△1.2	
中女：全国比△0.6	中女：全国比△2.7	中女：全国比△1.8	中女：全国比△2.2	中女：全国比△0.9	

※小学生は男女ともに県平均は上回っているものの、全国平均は下回る。中学生は女子が県平均も下回っており、対策の必要がある。

みよし市立小学校・中学校の 「ふれあい教室」開設と「日本語指導」の実施



(H27学校教育課調べ)

現状と課題

現在、みよし市教育センター学びの森で支援が必要な子どもとその家庭に対して、専門相談員による「教育相談」や、不登校児童生徒を対象とした「ふれあい教室」の開設などの支援を行っています。その対象となる子どもの数は、年々増えています。また、日本語指導が必要な子どもも、増加傾向にあります。

このような個別の支援を必要としている子どもや家庭のニーズを把握し、一人一人に応じたきめ細やかな支援を行うための体制づくりが求められています。

重点施策 個別支援を要する子どもへのサポート体制の充実

政策立案-5-(1)アP56

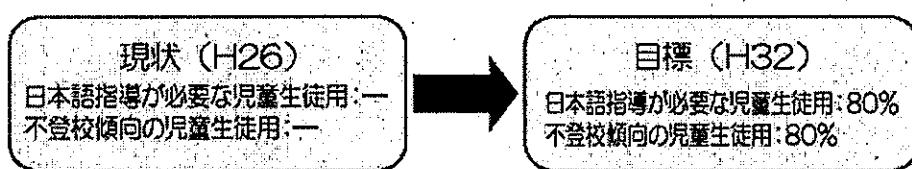
【施策の概要】

現在の教育相談・適応指導教室（ふれあい教室）・日本語初期指導教室を（仮称）みよし市教育センターで引き続き実施し、一人一人をきめ細やかに支援します。また、障がいのある子どもに作成している個別の指導計画を、日本語指導が必要な子どもや不登校傾向の子どもにも広げることで、学校の体制づくりや教員の資質向上を図り、学校やセンターでの支援が適切に行えるようにします。

【進行計画】

拡充	28	29	30	31	32
各種「個別の指導計画」の作成支援	支援体制及び各種「個別の指導計画」の様式の検討	(仮称)みよし市教育センター開所 各種「個別の指導計画」の策定	「個別支援のための機能」 ・教育相談・ふれあい教室・日本語初期指導教室	各種「個別の指導計画」による支援及び窓の見直し	→

【成果指標】個別の指導計画の作成割合（市教育支援センターによる調査）



※保護者と共に個別の指導計画を作成することで、「その子」に合った教育が継続的に行える体制づくりをします

【進捗状況】

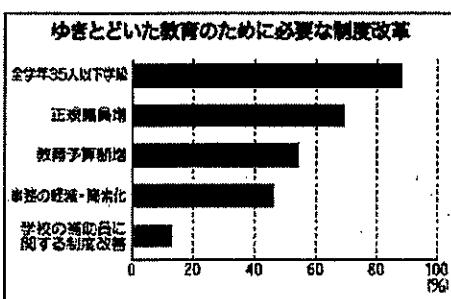
重点施策		個別支援を要する子どもへのサポート体制の充実
担当課		学校教育課
H28	達成状況	<input type="checkbox"/> 日本語指導が必要な子どもや不登校傾向の子どもの支援体制を整え、個別の指導計画の様式を作成した。 ・子どもの在籍校の担当者が初期指導教室の利用状況を参観したり、指導者との情報交換を行ったりして、指導や情報の共有を図った。 ・不登校の未然防止・初期対応を図るため、ハートケア教育センターが必要に応じ学校や家庭に巡回指導を行った。
H29	達成状況	<input type="checkbox"/> いじめ・不登校対策委員会を二度実施し、各機関との連携体制について協議した。 <input type="checkbox"/> 必要に応じてケース検討会議を実施し、不登校傾向の児童生徒に対し切れ目のない支援を行うために、指導・支援計画を作成した。 <input type="checkbox"/> 日本語指導が必要な子どもの個別の支援・指導計画の様式を作成し、各校で該当児童生徒の個別の支援・指導計画の作成を進めた。
H30	達成状況	<input type="checkbox"/> 「個別の教育支援計画・指導計画」による支援及び内容の見直しを図った。 <input type="checkbox"/> 不登校児童生徒のための児童生徒理解・教育支援シートを作成した。 <input type="checkbox"/> ハートケア教育センターが不登校児童生徒及びその保護者の支援をした。
R1	行動予定	<input type="checkbox"/> 不登校児童生徒のための「児童生徒理解・教育支援シート」の作成及び引継ぎを徹底。 <input type="checkbox"/> 対象児童生徒の各種「個別の支援・指導計画」の作成・実施・継続的な見直し。 <input type="checkbox"/> ハートケア教育センターが保護者、学校、関係機関をコーディネートし、不登校児童生徒を支援。
R1	達成状況	<input type="checkbox"/> 不登校児童生徒のための「児童生徒理解・教育支援シート」の作成及び引継ぎを学校訪問で確認。また、「個別の支援・指導計画」の作成・実施・継続的な見直し。 <input type="checkbox"/> ハートケア教育センター (SSW) が保護者、学校、関係機関をコーディネートし、不登校児童生徒を支援。
	アンケート・点検評価の分析 R2に向けた改善	<input type="checkbox"/> 学校以外の相談先の周知が図られつつあるが、長期休業前に全児童生徒へ相談先の案内を継続して配付することで、さらなる周知を図る。
R2	具体化した行動予定	<input type="checkbox"/> 「児童生徒理解・教育支援シート」や「個別の支援・指導計画」に基づいて支援を実施。 <input type="checkbox"/> 日本語初期指導教室へ通う児童生徒の増加により、初期指導教室を教育センター「学びの森」に加え、三好丘小学校内にも設置。

P
D
C
A

【成果指標】個別の指導計画の作成割合 (市教育支援センターによる調査)

基準年(H26)	H29 調査	H30 調査	目標(R2)
日本語指導が必要な児童生徒用：— 不登校傾向の児童生徒用：—	日本語指導が必要な児童生徒用：100% 不登校傾向の児童生徒用：100%	日本語指導が必要な児童生徒用：100% 不登校傾向の児童生徒用：100%	日本語指導が必要な児童生徒用：80% 不登校傾向の児童生徒用：80%

*障がいのある子ども、日本語指導を必要とする子ども、不登校傾向の子ども、それぞれに対する個別の指導計画作成は、100%を維持している。作成した個別の指導計画がしっかりと活用されていることが伝わるように、きめ細かな支援を継続していきたい。



少人数学級になって、毎日の生活日記に丁寧に目を通してもらえるようになりました。全学年での早期実現を強く望んでいます。
(行政区ヒアリングより)



現状と課題

少人数学級編制については、国が小学校1年生を、県が小学校2年生、中学校1年生でいわゆる35人学を実施し、本市では、義務教育全ての学年での少人数学級の実現を目指し、平成23年度より小学校3年生で、平成28年度より中学校2年生、平成29年度より中学校3年生に順次拡大をし、平成31年度より残る小学校4年生から6年生まで拡大を図り全ての学年で35人学級を実施しています。

今後は、少人数学級の利点を生かした効果的な指導の研究・検討を行う必要があります。



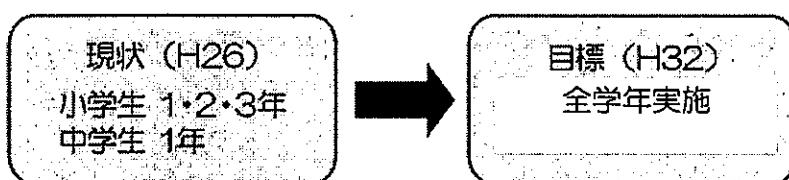
【施策の概要】

令和元年度より義務教育全ての学年で35人学級編制による学校運営を実施しています。児童生徒一人一人に対するきめ細かい指導を実施できる少人数学級の利点を生かし、個に応じた適切な指導を行うことができるよう、より効果的な指導について研究・実践を実施していきます。

【進行計画】

拡充	28	29	30	31	32
全学年での 少人数学級体制 の実現	中2追加実施	中3追加実施	~	全学年実施	少人数学級の利点を 生かした効果的な指 導の研究・検討

【成果指標】35人以下学級を実施している学年（学校教育課による調査）



※ 少人数でのより効果的な指導
について研究・実践します

【進捗状況】

重点施策		小中学校少人数学級体制の拡大
担当課		学校教育課
H28	達成状況	<p>□中学校2年生での35入学級を実現させたことで、三好丘中学校が、38入学級×6クラス⇒32（33）入学級×7クラスになった。</p> <ul style="list-style-type: none"> ・学級規模が小さくなつたことで、担任の先生は一人一人に目が届き、きめの細かい指導が可能になった。
H29	達成状況	<p>□中3での35入学級を実現させたことで、三好丘中学校の3年生が、38・39入学級×6クラス⇒33入学級×7クラス になった。</p> <ul style="list-style-type: none"> ・学級規模が小さくなつたことで、担任の先生は一人一人に目が届き、きめの細かい指導が可能になった。 <p>□新しい学習指導要領のキーワードとなる「主体的・対話的で、深い学び」の実現を目指し、少人数の良さを生かしながら実践を重ねている。</p>
H30	達成状況	<p>□一人一人に目が届き、きめの細かい指導が実施できている。</p> <p>□小学校4、5、6年生への少人数学級編制実現に向けた教職員の確保と教育環境整備への目途が立つたことから少人数学級編制の拡大を図るために必要な予算計上を行つた。</p>
R1	行動予定	□小学校4、5、6年生での少人数学級編制の追加実施
R1	達成状況	<p>□市による35入学級編制の状況</p> <ul style="list-style-type: none"> ・小学校3年生 中部小、北部小 ・小学校4年生 三好丘小 ・小学校6年生 北部小、三好丘小、緑丘小 ・中学校2年生 三好中、北中、南中 ・中学校3年生 北中
	アンケート・点検評価の分析 R2に向けた改善	<p>□教師が保護者や地域の期待に応えているかどうかについて、「大変えている」と回答する保護者が増加し、また、学校生活全体に対する満足度においても「大変満足している」と回答する児童生徒及び保護者の割合もともに増加する等、事業の成果が着実に表れている。なお、今後の学校教育に期待することについて「基礎的な知識の習得」や「思いやりの心の醸成」を望む意見が多いことから、効果的な指導方法、教育環境の研究を推進する。</p>
R2	具体化した行動予定	□少人数学級の利点を生かし、個に応じた効果的な指導が行える教育環境の整備を検討

P

D

C

A

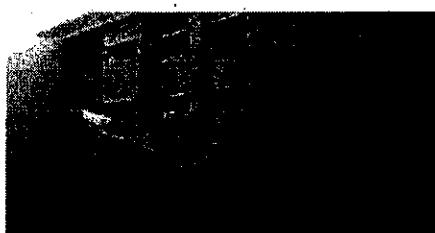
【成果指標】35人以下学級を実施している学年

(学校教育課による調査)

基準年(H26)	H28	H29	H30	R1	目標(R2)
小1 2 3年 中1年	小1 2 3年 中1 2年	小1 2 3年 中1 2 3年	小1 2 3年 中1 2 3年	小1 2 3 4 5 6年 中1 2 3年	小1 2 3 4年 中1 2年

※当初目標を達成したため、少人数学級による利点を生かし、個に応じた適切な指導を行うことができる教育環境の実現を目指していく





市内各校の校舎の建設・改修の状況

中 部 小	昭和62年建設
北 部 小	平成14~17年改修
西 部 小	平成元年改修
天 王 小	平成25~27年改修
三 吉 小	昭和55年建設
三 好 丘 小	平成元年建設
猿 丘 小	平成8年建設
黒 笠 小	平成19年建設
三 好 中	平成20~24年改修
北 中	昭和56年建設
南 中	昭和58年建設
三 好 丘 中	平成18年建設

現状と課題



みよし市の小中学校の建物は、全て耐震化の対策が済んでおり、万が一、大きな地震が起こっても対応できるようになっています。

しかし、学校によっては築後30~40年の校舎もあるため、床の傷みや設備の老朽化などの課題があります。

そこで、みよし市では、平成14年度の北部小学校をスタートに、順次校舎の改修を進めています。子どもが、安心・安全で快適な学校でのびのびと生活ができるよう、学校施設の改修が求められています。

重 点 施 策

大規模改修による学校施設の整備

(施策体系I-6-(2)AP60)

【施策の概要】

老朽化した小中学校の校舎の大規模改修や、体育館照明のLED化を順次進めていきます。時代に合った設備に刷新すると共に、バリアフリー化や省エネルギー化も進めます。また、内装材には木製品を多く使うようにするなど、子どもが温もりを感じられる学校環境の整備を推進していきます。

【進行計画】

拡充 小中学校の施設 の計画的な改修	28	29	30	31	32
・北中学校大規模改修			→	・三吉小学校大規模改修	→
・体育館照明LED化 (5校完了)					→

【成果指標】「学校施設が安心・安全・快適である」児童生徒の割合 (みよしの教育に関するアンケート [小5・中2])

現状 (H26)
小学生 84%
中学生 70%

目標 (H32)
小学生 87%
中学生 75%

※子どもが安心・安全・快適な
学校環境だと感じられるよう、
きめ細かな改修とともに、大
規模改修を推し進めます

【進捗状況】

重点施策		大規模改修による学校施設の整備
担当課		教育行政課
H28	達成状況	<input type="checkbox"/> 夏季休業期間を中心に6月から1月末までかけて南舎（管理棟）・武道場の大規模改修を実施し、老朽化した施設の長寿命化とトイレのドライ化、洋式化を進めることができた。 <input type="checkbox"/> 学校現場の要望も踏まえ、平成29年度に実施する2期工事（北舎：普通教室棟・技術課室棟・体育館）の設計を行うことができた。
H29	達成状況	<input type="checkbox"/> 北中学校大規模改修2期工事（北舎：普通教室棟・技術科室棟・体育館）の契約を5月に交わし、1月末までに工事を実施した。 <input type="checkbox"/> 北中学校大規模改修3期工事実施設計（プール・外構）の業務委託の契約を5月に交わし、1月末までに設計を行った。
H30	達成状況	<input type="checkbox"/> 北中学校大規模改修3期工事（プール・外構）の契約を6月に交わし、1月末までに工事を実施した。 <input type="checkbox"/> 三吉小学校大規模改修1期工事実施設計業務委託（体育館・プール・外構）の業務委託の契約を4月に交わし、2月下旬に設計完了予定。
	行動予定	<input type="checkbox"/> 三吉小学校大規模改修1期工事（体育館・プール・外構）の実施 <input type="checkbox"/> 三吉小学校大規模改修2期工事実施設計（南舎：管理棟）の実施
R1	達成状況	<input type="checkbox"/> 三吉小学校大規模改修1期工事（体育館・プール・外構）の契約を7月に交わし、3月下旬に工事を完了した。 <input type="checkbox"/> 三吉小学校大規模改修2期工事実施設計（南舎：管理棟）の業務委託の契約を4月に交わし、2月に設計を完了した。
	アンケート・点検評価の分析 R2に向けた改善	<input type="checkbox"/> 今後も教育環境の充実を目指して大規模改修工事等による施設整備を計画的に進める。
R2	具体化した行動予定	<input type="checkbox"/> 三吉小学校増築工事実施設計（南舎：管理棟増築）の実施

P
D
C
A

【成果指標】「学校施設が安心・安全・快適である」児童生徒の割合

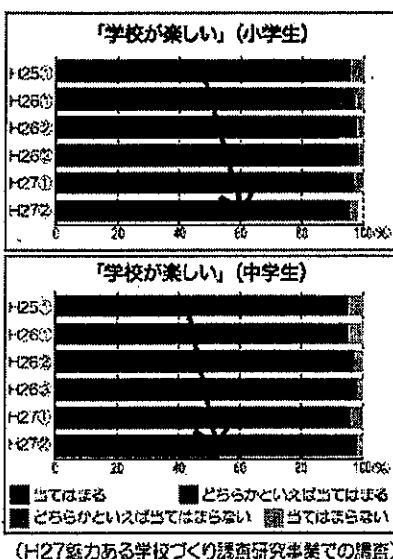
(みよしの教育に関するアンケート【小学生・中学生】)

基準年(H26)	H29 アンケート	R1 アンケート	目標(R2)
小学生84% 中学生70%	小学生84% 中学生81%	小学生88% 中学生84%	小学生87% 中学生75%

※北中学校、三吉小学校と大規模改修が計画的に進んだことで、児童生徒の満足度が年々増加している。今後も安心・安全・快適な学校施設づくりに取り組んでいきたい。



「学校が楽しい」と感じる児童生徒の割合



現状と課題

みよし市では平成26・27年度に実施した「魅力ある学校づくり調査研究事業」を基に、平成28年度からは三好丘中学校区（三好丘中、三好丘小、黒笹小）で3年間「人権教育総合推進地域事業」に取り組みました。自他の一人一人を大切にする心を育もうと学校、家庭、地域社会が一体となって活動しました。

これらの取り組みから、学校間の連携した指導が教職員の力量向上や楽しい学校づくり、新たな不登校の子どもを出さないことに對して、大変効果的であることがわかりました。これらの取り組みを市内全学校に広げ、学校が楽しいと思う子どもを増やすことが期待されます。

重点施策

12校の連携強化による教職員の資質向上

[就業体系-6-(3)アP62]

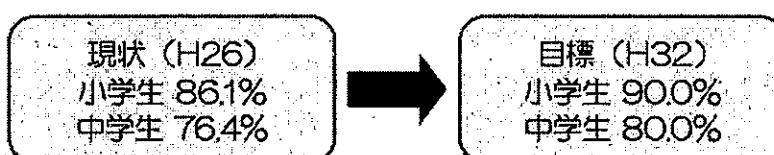
【施策の概要】

まずは、中学校区を中心に小小・小中学校間が連携をすることで、発達段階に応じた連続した指導ができるようになったり、教職員自身の学び合いによる資質向上を目指したりします。教職員同士が学び合い、全12校の学校同士がつながることで、子ども理解の深化や指導力の向上を図り、学校が楽しいと思う子どもを増やします。

【進行計画】

新規	28	29	30	31	32
「チームみよし」を合言葉とした学校間連携の強化	各中学校区での連携の強化	→	校務支援システム内に教育情報を集約し、連携を強化	→	12校での連携の強化

【成果指標】「学校に行くのは楽しい」児童生徒の割合 (全国学力・学習状況調査 [小6・中3])



*教職員が学び合い、子ども理解の深化や指導力の向上を図ることで、「学校が楽しいと思う」に「当てはまる」「どちらかといえば当てはまる」子どもを増やします

【進捗状況】

重点施策		12校の連携強化による教職員の資質向上
担当課		学校教育課
H28	達成状況	<input type="checkbox"/> 三好丘中学校区では、中学校区の3校が連携し、人権教育に総合的に取り組んだ。小中学生が一緒にあいさつ運動に取り組んだり、人権啓発標語の書かれたのぼりを作成して地域にもPR活動をしたりした。 <input type="checkbox"/> 校務支援システムを活用して、自校で行われる研究授業を他校に紹介し、参観者を募るなど、学校間の連携が進んだ。 <input type="checkbox"/> 三好中学区での連携が継続し、南中学校区でも取り組みが始まった。
H29	達成状況	<input type="checkbox"/> 三好中学校区による連携を継続し、強化を進めた。 <input type="checkbox"/> 三好丘中学校区で、小中合同あいさつ運動や部活動交流会など、小中連携活動を充実させた。 <input type="checkbox"/> 市教育センターを開設に伴い、各校の研究物や文部科学省が作成した資料をライブラリに整理した。
H30	達成状況	<input type="checkbox"/> 各校の実践や研究資産を市内小中学校で共有 <ul style="list-style-type: none"> ・各中学校区の連携が養護部会、生徒指導部会等で推進された。 ・校務支援システムで各校の授業実践についての資料を共有した。 <input type="checkbox"/> 市教育センターライブラリに収蔵されている資料のリストを作成し、校務支援システムにより教職員に周知。(年度末)
R1	行動予定	<input type="checkbox"/> 校務支援システムで共有された、各校の授業実践の活用、各校の講師・招聘現職研修計画を基にした教師自身による研修計画づくり <input type="checkbox"/> 教職員同士が得意分野を生かした自主研修【みよし市教師塾】の開催
	達成状況	<input type="checkbox"/> 校務支援システムによる、各校の授業実践、講師招聘現職研修計画の全教員への周知を行った。 <input type="checkbox"/> 市内学校で活躍する先生を講師として、みよし市教師塾の企画、運営を行った。
	アンケート・点検評価の分析 R2に向けた改善	<input type="checkbox"/> 授業での児童生徒の主体的な学びを引き出す取組、「授業で生徒・生活指導を行う」ことが市内教職員に浸透し、「先生たちに認めてもらっている」という児童生徒の実感につながっていると考えられる。これに、市小中学校保健事業部会の「子どものレジリエンスを高める取組」が加わり、自己肯定感が高まることで、教職員の支援が児童生徒により伝わるようになっており、これらの取組を確実に継続していくことが重要である。
R2	具体化した行動予定	<input type="checkbox"/> 校務支援システムによる各校の授業実践、講師招聘現職研修計画の周知 <input type="checkbox"/> 市内学校で活躍する教職員を講師として開催するみよし市教師塾の実施 <input type="checkbox"/> 市小中学校保健事業部会の取組の、市内全教職員での理解、参加

【成果指標】「先生は、自分のよいところを認めてくれている」と思う児童生徒の割合

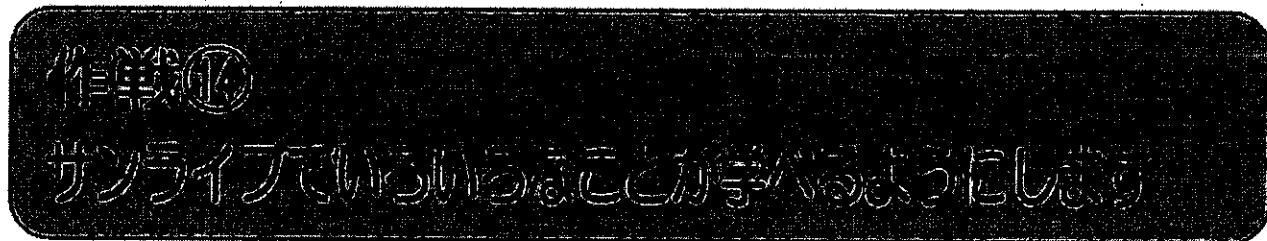
(全国学力・学習状況調査)

基準年(H26)	H28	H29	H30	R1	目標(R2)
—	—	—	小85.7% 中78.8%	小86.5% 中84.2%	小90.0% 中80.0%

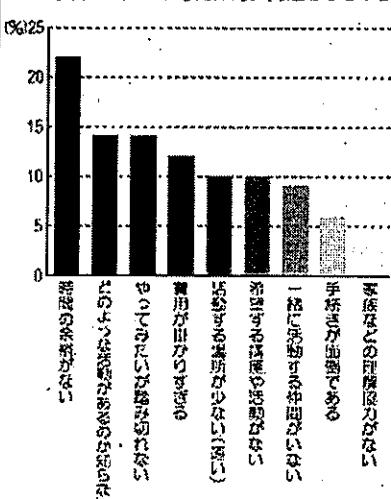


※全国学力・学習状況調査の質問紙調査の項目が変更されたため、成果指標を改めました。

※平成30年度から成果指標を改めた。教員の資質向上により、子どもも理解が深まった結果が表れてきているが、あくまで100%を目指した努力が必要である。



生涯学習をしたいと考えた時に問題となること



(H26みよしの教育に関するアンケート [市民])

現状と課題

みよし市では、市民一人一人が、生涯を通じて生きがいをもって学ぶことのできる場や機会を充実させるために、図書館学習交流プラザ「サンライブ」を拠点に、幅広い分野にわたる生涯学習講座を開催しています。

人生100年時代を迎え、最新の社会情勢と市民のニーズに即した生涯学習事業を展開していくため、多様な生涯学習講座の開催を通じ、誰もがいつでも学べる環境づくりの推進が求められています。

そのため、講座の開催時間や講座の対象者に柔軟性をもたせるなど、生涯学習機会の提供方法等の検討を進める必要があります。

重点施策

サンライブの生涯学習観点化の推進

政策系Ⅱ-1-(1)ア P66

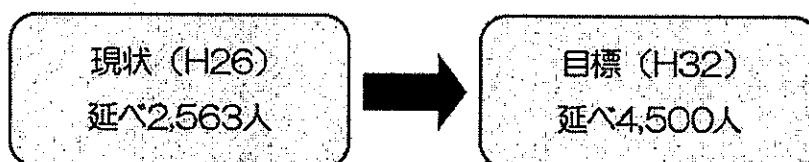
【施策の概要】

平成28年度にオープンするサンライブでは、夜間や土曜日・日曜日などの講座の開催も可能となります。年齢や性別に関わらず、学習意欲のある人々が、自分にあった講座に参加できるよう、生涯学習情報を市民に広く伝え、市民の生涯学習を活性化していきます。

【進行計画】

	28	29	30	31	32
新規 生涯学習講座の 充実	サンライブでの 生涯学習講座 の開始	夜間講座の 充実	土曜日・日曜日 の講座の充実	講座体系の 見直し	新たな体系に による運営

【成果指標】生涯学習講座を受講した人の数（生涯学習課調べ）



※講座の種類や内容をより充実させ、受講者数の増加を目指します

【進捗状況】

重点施策		サンライズの生涯学習拠点化の推進
担当課		生涯学習推進課
H28	達成状況	<p><input type="checkbox"/> 7月2日に図書館学習交流プラザ「サンライズ」を開館し、生涯学習講座をサマースクールから開講した。</p> <ul style="list-style-type: none"> ・年間の講座としては、春夏講座22講座・サマースクール11講座・秋冬講座59講座・新春講座55講座を開講し、2,309人が受講した。
H29	達成状況	<p><input type="checkbox"/> 生涯学習講座を、公開講座2講座、生活創造講座84講座、国際理解講座37講座、情報・通信講座60講座、合計183講座を開催した。</p> <p><input type="checkbox"/> 夜間や土曜日に43講座を開催し、生涯学習機会を増やし、勤労者の生涯学習を支援した。</p>
H30	達成状況	<p><input type="checkbox"/> 生涯学習講座を、公開講座2講座、生活創造講座を77講座、国際理解講座を39講座、情報・通信講座72講座、合計190講座を開催する。</p> <p><input type="checkbox"/> 夜間や土曜日に45講座を開催し、生涯学習機会を増やし、勤労者の生涯学習を支援する。</p>
	行動予定	<p><input type="checkbox"/> 生涯学習講座を、年間200講座企画し開催する。講座分野は、生活創造講座、国際理解講座、情報・通信講座、大学連携講座の4分野とする。</p> <p><input type="checkbox"/> サンライズを利用し、夜間講座や土日講座を企画し、勤労者への生涯学習の機会を増やす。</p> <p><input type="checkbox"/> 来年度以降の講座の体系や、運営体制を見直す。</p>
R1	達成状況	<p><input type="checkbox"/> 生涯学習講座を、大学との連携2講座、生活創造74講座、国際理解62講座、情報通信64講座、年間202講座企画し、2,334人が受講した。なお、特別の事情により、その内8講座について中止とした。</p> <p><input type="checkbox"/> 生涯学習講座の運営方法について、管理運営検討委員会で審議し、今後も直営という現状の体制で企画運営することを決定した。</p>
	アンケート・点検評価の分析 R2に向けた改善	<p><input type="checkbox"/> 講座受講後のアンケート結果では、満足している、概ね満足していると答えた人の割合が90%を大きく超えている。しかし、この結果に満足することなく、市民からいただいた意見や要望については、今後真摯に対応していく。</p>
R2	具体化した行動予定	<p><input type="checkbox"/> 来年度も市民ニーズ、ライフステージに即した魅力ある生涯学習講座を開催し、一人でも多くの方に受講していただくことを目標に掲げ、生涯学習の更なる活性化に努めます。</p>

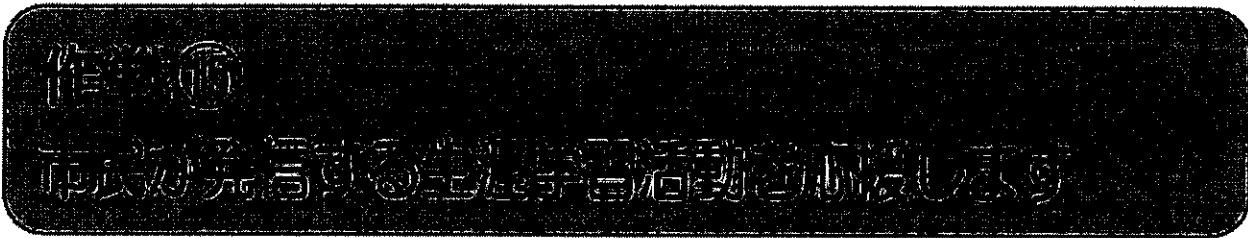
P
D
C
A

【成果指標】生涯学習講座を受講した人の数

(生涯学習推進課調べ)

基準年(H26)	H28	H29	H30	R1	目標(R2)
延べ 2,563人	延べ 2,450人	延べ 2,328人	延べ 2,193人	延べ 2,334人	延べ 4,500人

※令和2年度は、リピーター以外に新規で多くの方に生涯学習講座を受講していただけるよう、魅力ある講座の企画運営に取り組みます。



平成27年度 市内で活動する生涯学習活動登録団体

- ・渡辺民謡会
- ・演劇グループ遊
- ・西川流百花の会
- ・愛友クラブ
- ・みよし大正琴クラブ
- ・たまゆら
- ・居合道クラブ
- ・樊孟孫式太極拳研究会
- ・三好健康太極拳
- ・筑紫丸和会
- ・和太鼓龍桜流 三燐
- ・みよし子ども音楽セミナー「音遊合唱団」
- ・天辰神容流剣詩舞会
- ・天辰神容流岡崎神容館みよし詩吟部
- ・和太鼓龍桜流 嘉乃鼓
- ・みよし塚本写真塾
- ・バッチャーウークサークル

現状と課題

みよし市では、生涯学習講座などで出会った市民が、気の合う仲間と共に自主的に活動する生涯学習活動団体を作り、スポーツから伝統工芸まで幅広い分野で活動を展開しています。

これらの団体が成果を発表できる場を準備したり、継続して活動できるよう支援をしたり、団体を作りたいと思っている人たちを応援したりすることで、市民が発信する生涯学習活動を活性化することが求められています。

重点 施 策

地域や自主的サークルによる生涯学習の推進

[施策目標] ①(P66)

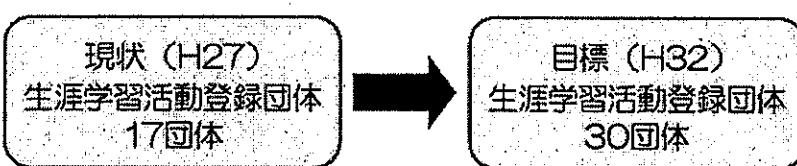
【施策の概要】

生涯学習団体が継続して活動できるよう支援をしたり、生涯学習を積極的に推進する地区や新たに団体活動を始める市民の自主的サークルを助成したりします。また、それらの団体が学習成果を発表できる機会をつくったり、団体の活動を市民に広く伝えたりすることで、市民主体の生涯学習活動を活性化します。

【進行計画】

	28	29	30	31	32
新規 生涯学習活動団 体への支援	生涯学習活動団 体への助成	→	学習成果の発 表方法の充実	生涯学習活動 団体の広報	→

【成果指標】生涯学習活動を行っている団体の数（生涯学習課調べ）



*生涯学習が市民の中に継続的
に根付くよう、生涯学習活動
団体づくりを応援します

【進捗状況】

重点施策		地域や自主的サークルによる生涯学習の推進
担当課		生涯学習推進課
H28	達成状況	<input type="checkbox"/> 生涯学習活動団体として7団体へ助成し、各団体特色ある講座を開講した。 <input type="checkbox"/> 生涯学習発表会を3月4日(土)、5日(日)に開催し、472人が参加した。
H29	達成状況	<input type="checkbox"/> 生涯学習活動団体として7団体へ助成し、各団体特色ある講座を開講した。 <input type="checkbox"/> 生涯学習発表会を3月2日(土)、3日(日)に開催する予定である。
H30	達成状況	<input type="checkbox"/> 生涯学習活動団体として5団体へ助成し、各団体特色ある講座を開講した。 <input type="checkbox"/> 前年度の開催場所を見直し、生涯学習発表会を2月23日(土)から3月3日(日)まで開催する。
R1	行動予定	<input type="checkbox"/> 行政区や生涯学習支援団体が自主的な生涯学習講座を開催した場合、地域文化活動等推進事業補助金として補助する。 <input type="checkbox"/> 生涯学習活動団体の登録を受ける。 <input type="checkbox"/> 生涯学習情報誌で生涯学習活動団体を紹介する。 <input type="checkbox"/> 生涯学習活動団体による、生涯学習発表会を実施する。
R1	達成状況	<input type="checkbox"/> 平成31年度から補助事業の見直しを行い、地区文化活動と生涯学習活動について一本化した。生涯学習活動団体として5団体、地区文化祭等行政区に対しては、15行政区に補助金を交付した。 <input type="checkbox"/> 生涯学習発表会の展示発表は予定通り開催できたが、芸能発表は特別の事情により中止とした。
R2	アンケート・点検評価の分析 R2に向けた改善	<input type="checkbox"/> ホームページ、広報誌等で活動団体への補助事業を広く周知する。 <input type="checkbox"/> 生涯学習発表会については、毎年参加団体を対象にアンケート調査を行っていますので、いただいた意見を参考に改善に努める。
R2	具現化した行動予定	<input type="checkbox"/> 地城市民が自主的に文化活動や生涯学習活動を行えるよう、補助事業を継続する。また、生涯学習活動団体数を増やすための啓発活動等を更に強化する。

【成果指標】生涯学習活動を行っている団体の数

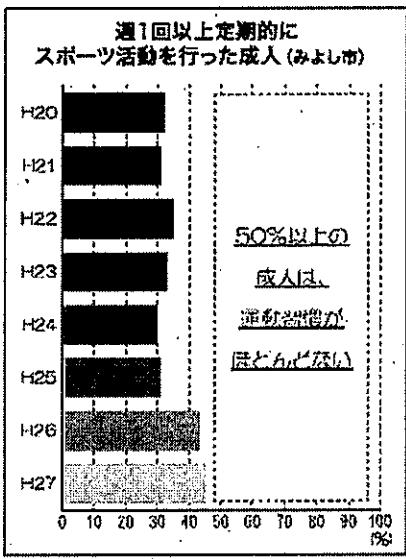
(生涯学習推進課調べ)

基準年(H26)	H28	H29	H30	R1	目標(R2)
生涯学習活動登録団体数 17	生涯学習活動登録団体数 14	生涯学習活動登録団体数 15	生涯学習活動登録団体数 16	生涯学習活動登録団体数 18	生涯学習活動登録団体数 30

※生涯学習活動登録団体数については、従来は生涯学習活動団体登録申請数のみで計上していたが、生涯学習センタークラブ登録申請書に「生涯学習活動団体に登録をするか否か」の項目があり「する」にチェックした団体は、本来登録団体数に含める必要があるため、下記に改める。

記

基準年(H26);46団体、H28;56団体、H29;64団体、H30;64団体、R1;66団体、目標(R2);70団体



現状と課題



全国的に、子どもの体力は低下傾向にあり、スポーツを行う子どもと、行わない子どもは二極化の傾向にあります。

これは本市の大人にもいえることであり、ランニングやチームスポーツに日頃から親しむ市民がいる一方、運動習慣のほとんどない成人も50%以上います。

みよし市では、地域全体でスポーツに親しむ環境を整備し、みんなで心身の健康を高めていくことが求められています。市民が生涯にわたり健康な暮らしを送るため生涯スポーツ推進の必要性が高まっています。

重 点 施 策

総合型地域スポーツクラブの育成

【施設系】-2-(1)ア P.37

【施策の概要】

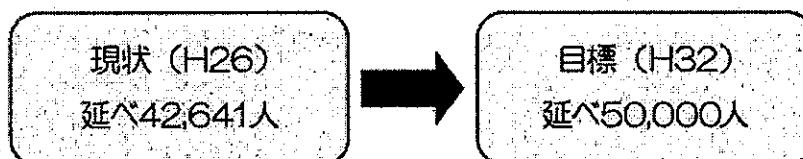
スポーツ推進計画「みんなでスポーツ いいじゃんみよし」に基づき、スポーツ活動の支援や、スポーツを通じたコミュニティづくりを行っています。総合型地域スポーツクラブに関しては、現在、「なかよしクラブ」と「三好さんさんスポーツクラブ」の二つのクラブが活動しています。今後は、きたよし地区での新たなクラブ設立と活動を支援し、市民がスポーツに親しむ機会を増やしていきます。

【進行計画】

新規	28	29	30	31	32
総合型地域スポーツクラブの支援と環境整備	きたよし地区スポーツクラブの設立	小中学校とスポーツクラブの連携強化	クラブマネージャーなどの資格取得に対する支援	活動拠点となる小中学校の屋外照明設備の設置	小中学校の部活動の支援

【成果指標】総合型地域スポーツクラブで活動した人の数

(スポーツ行政概要)



※新たなクラブを設立することで、総合型地域スポーツクラブで活動する市民の裾野を広げます

【進捗状況】

重点施策		総合型地域スポーツクラブの育成
担当課		スポーツ課
H28	達成状況	<p>□ 6月18日総会開催三好ともいきスポーツクラブを設立した。</p> <ul style="list-style-type: none"> ・第4回設立準備会を開催。平成27年度事業報告・収支決算及び平成28年度事業計画・収支予算を承認した。 ・第5回設立準備会を開催。準備会規約の廃止を承認、準備会を解散した。
H29	達成状況	<p>□中学校部活動支援として、なかよしクラブではソフトテニス、三好さんさんスポーツクラブではバレーボールをそれぞれ受け入れた。</p> <p>□市内3総合型地域スポーツクラブに対して、それぞれ運営補助金を交付。またあわせて、三好さんさんスポーツクラブにはクラブハウス整備費補助金を交付し、クラブの円滑な運営を支援した。</p>
H30	達成状況	<p>□みよしレクリエーション・スポーツフェスタ2018において、市内3総合型地域スポーツクラブによるニュースポーツ等のデモンストレーション及び事業PRを実施した。</p>
	行動予定	<p>□小中学校の屋外照明設備の設置について、スポーツクラブ、小中学校、同施設管理担当課(教育行政課)等と協議を行う。</p>
R1	達成状況	<p>□スポーツクラブへの聞き取りを実施。現状では屋外照明設備のある施設は充足しているとの意見であった。</p>
	アンケート・点検評価の分析 R2に向けた改善	<p>□総合型地域スポーツクラブの活動・講座への認知度を高め、あわせてスポーツ意欲を高めるような働きかけが必要。</p>
R2	具体化した行動予定	<p>□学校部活動の在り方の今後の変化を見据え、総合型地域スポーツクラブ等がどのような形で学校部活動に支援(関与)できるか、検討する。</p>

P
D
C
A

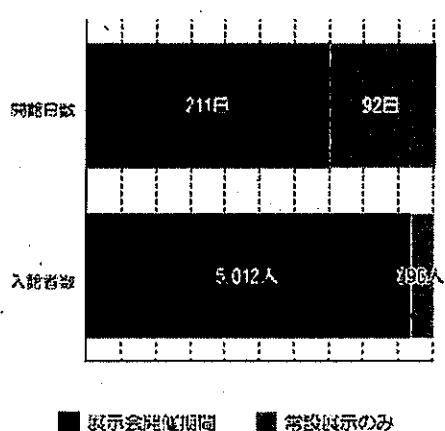
【成果指標】総合型地域スポーツクラブで活動した人の数

基準年(H26)	H28	H29	H30	R1	(スポーツ行政概要)	
					達成	達成
42,641人	51,003人	51,815人	55,153人	53,187人	50,000人	目標(R2)

※すでにR2年度目標は達成しているが、地域スポーツ発展のために、さらなる拡大を図る。



歴史民俗資料館入館者数



(H26歴史民俗資料館調べ)

現状と課題

歴史民俗資料館では、常設展示をリニューアルしたことでの猿投古窯関係の展示がいつでも見学できるようになりました。また、民具については、季節により一部入れ替えを行って展示し、常設展に変化をつけています。

入館者数は、リニューアル後は微増していますが、依然伸び悩んでいる状況です。

このため、今後も本市の歴史や文化を広く発信していくことが必要です。

重点 施 策

歴史民俗資料館展示資料の充実

施策系II-3-(1)ア[P70]

【施策の概要】

歴史民俗資料館の常設展示をリニューアルし、猿投古窯関係の展示を、開館時にいつでも見学できるようにします。民具についても展示物を更新し、歴史の移り変わりなど、みよしの歴史や文化を学習できるようにします。また、企画展・特別展についても郷土の偉人・文化・民俗・考古などさまざまなテーマで充実していきます。

【進行計画】

新規	28	29	30	31	32
歴史民俗資料館常設展示の更新	展示室リニューアル工事	展示室リニューアルオープン	→	市制施行10周年記念事業準備	市制施行10周年記念事業

【成果指標】みよし市の歴史に関する市民の割合

(みよしの教育に関するアンケート【市民】)

現状 (H26)
有数の陶器産地であったことを知っている27%



目標 (H32)
有数の陶器産地であったことを知っている60%

※展示のリニューアルなどで資料館に訪れる人を増やし、市民の歴史に対する関心を高めます

【進捗状況】

重点施策		歴史民俗資料館展示資料の充実
担当課		資料館
H28	達成状況	<input type="checkbox"/> 2階展示室を改修し、ひな人形展を開催。常設展示室をリニューアル。 ・リニューアルオープンチラシ・パンフレットの作成 <input type="checkbox"/> 古窯を理解してもらうため出張授業の説明（2校で開催）
H29	達成状況	<input type="checkbox"/> 企画展（「みよし最後のやきもの」、「昆虫展」、「ひな人形展」）並びに特別展「伊勢門水展」を開催した。 <input type="checkbox"/> 石川家住宅で「夏まつり」「町なかアートギャラリー」を開催。3月「クイズラリー」を開催予定。 <input type="checkbox"/> 資料館のリニューアルを記念して、古窯に関する講演会並びに「手回しロクロ」・「大甕」・「灰釉陶器」以上3種類の陶器づくりの講座を開催した。
H30	達成状況	<input type="checkbox"/> 企画展3回（猿投古窯×陶芸、色から見たみよしのやきもの、ひな人形展）、特別展1回（のぞいてみよう世界の民俗仮面）を開催した。 <input type="checkbox"/> 常設展示で新たに「むかしの食卓」に関連した展示を計画し実施した。 <input type="checkbox"/> 夏季に土器作りと石器作り体験講座を各2回開催した。 <input type="checkbox"/> 夏季に土器型クッキー（ドッキー）作りの体験イベントを開催した。 <input type="checkbox"/> 市指定文化財の黒笹27号窯や、福谷城跡・石川家住宅などを回る文化財めぐりを実施。
R1	行動予定	<input type="checkbox"/> 市制施行10周年記念事業準備 ・土器作り・石器作りの体験講座及び土器型クッキー（ドッキー）作り体験イベントを開催 ・市指定文化財の黒笹27号窯・石川家住宅を含む市内文化財めぐりの実施 ・灰釉陶器づくり体験講座を夏季と秋季に開催。 ・石川家住宅で「夏まつり」「町なかアートギャラリー」を開催。3月「クイズラリー」を開催予定。
	達成状況	<input type="checkbox"/> 市制施行10周年記念事業の計画を作成し、準備を整えた。 <input type="checkbox"/> 企画展3回（発掘調査成果展、東海の化石から探る いきものの4億年、ひな人形展）、特別展1回（太古のロマンを求めて 稲垣輝行氏石器コレクション展）を開催した。 <input type="checkbox"/> 夏季に土器作りと石器作りの体験講座を各2回開催した。 <input type="checkbox"/> 夏季に土器型クッキー（ドッキー）作りの体験イベントを開催した。 <input type="checkbox"/> 灰釉陶器づくり体験講座を夏季、秋季、冬季に開催した。 <input type="checkbox"/> 黒笹27号窯、福谷城跡、石川家住宅等を回る文化財めぐりを実施した。 <input type="checkbox"/> 石川家住宅で「夏まつり」「町なかアートギャラリー」を開催した。
	アンケート・点検評価の分析 R2に向けた改善	<input type="checkbox"/> 石川家住宅の数値が全対象者で上がっているのは、歴史体感講座やイベントを継続して行ってきた成果だと考える。今後も石川家住宅の特色を生かした新しい体感講座や趣向を凝らしたイベントを開催していく。 <input type="checkbox"/> 有数の陶器産地であったことをしっている市民の割合が1ポイント下がっている。小学生や中学生は微増しているので、企画展や夏休みなどに親子で参加できるイベントを企画して積極的にPRしていく。
R2	具体化した行動予定	<input type="checkbox"/> 市制施行10周年記念として、みよしの猿投窯に関する展示を春季と夏季に行う。 <input type="checkbox"/> 夏休み期間中に親子で参加できる、体験型のイベントを開催する。

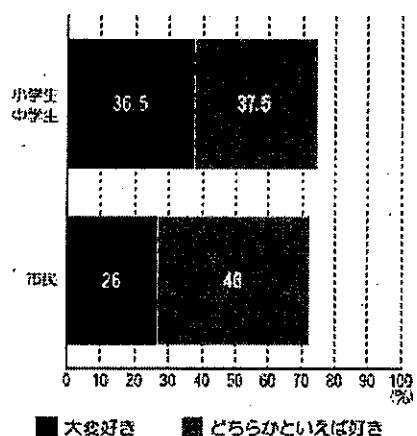
【成果指標】みよし市の歴史に関する市民の割合

（みよしの教育に関するアンケート【市民】）

基準年(H26)	H29 アンケート	R1 アンケート	目標(R2)
有数の陶器産地であったことを知っている 27%	有数の陶器産地であったことを知っている 33%	有数の陶器産地であったことを知っている 32%	有数の陶器産地であったことを知っている 60%

※体験講座や各種イベントに参加する市民が増えてきているが、成果に結びついていない。より趣向を凝らしたPRを継続的に行い歴史への興味を喚起していく。

本を読むことが好きか



(H26みよしの教育に関するアンケート [小中学生・市民])

現状と課題

平成28年7月にサンライブに新しい図書館ができました。蔵書能力は32万冊あり、子どもからお年寄りまで誰でもが利用できる施設です。

1階に生活に関する一般図書を配架し、新たにティーンズコーナー、おはなしの部屋を設置し、定期的におはなし会も開催するなど魅力的な図書館となっています。

しかし、令和元年度のアンケート調査では、平成29年度の「本が好き」と答えた割合を上回ったものの、今後いかに目標値に近づけるかが課題です。

重 点 施 策

サンライブでの充実した図書館サービスの推進

[政策本部II-3-(2)ア P72]

【施策の概要】

新図書館は、平日・土曜日・祝日は午後7時まで、日曜日は午後6時まで開館します。新刊本は毎年1万冊以上、雑誌は400誌を目指し購入します。そして、1階に一般図書の中でも生活に関する図書を配架し、児童室の他に新たにティーンズコーナー、おはなしのへや、閲覧室を設置します。また、第3次子ども読書活動推進計画を策定します。

【進行計画】

	28	29	30	31	32
新規 新図書館の整備	サンライブの オープン、読書 ノートの導入	子ども読書活動 推進計画の 改定	蔵書数 233,000冊 以上	図書館の管理 運営方法の 見直し	→

【成果指標】「本を読むことが好き」児童生徒・市民の割合

(みよしの教育に関するアンケート)

現状 (H26)
小学生・中学生 74%
市民 72%



目標 (H32)
小学生・中学生 80%
市民 80%

* 本に触れる機会を増やすことで、本を読むことが好きな子ども、市民を増やします